

◇日光市公共施設適正化推進市民委員会の役割

1. 公共施設の更新問題とは・・・

- 公共施設の多くは、都市化の進展や経済成長とともに、市民の皆さまの様々な行政需要に応えるため、集中的に整備されてきました。
- これら集中的に整備された公共施設は、今後、老朽化等により一斉に更新や大規模修繕が必要となる時期を迎え、多額の費用が必要となります。
- 一方で、高齢化や人口減少の進展により財政状況が厳しさを増す中で、公共施設の更新費用の確保が困難となり、現状のままでは、必要性の高い公共施設を良好な状態で保てなくなることが予想されます。これが「公共施設の更新問題」です。

2. 公共施設マネジメントとは・・・

- 公共施設の更新問題への対応、さらには、社会情勢の変化や地域特性に応じた適切な公共サービスの提供と安定した財政運営を両立するため、質量両面から公共施設全体のあり方を見直す必要があります。
- そのために、公共施設を資産と捉え、中長期的な視点により総合的に経営し、施設の最適化を図る仕組みが必要です。
- つまりは、公共施設を市の身の丈に合った規模（施設数や総量（面積））とし、市の将来を担う次の世代の過度な負担とならないよう、公共施設の有効活用と改善に向けて考えることが公共施設マネジメントであり、その早急な取り組みが求められています。

3. 日光市のマネジメントの取り組み概要

【公共施設マネジメント白書作成（平成24年6月）】

市が保有し管理運営している公共施設について、全体像を明らかにするとともに、その機能や配置状況、利用状況や稼働状況、また施設運営に要する経費や施設の老朽度等について実態を把握し、基礎的な資料とする「公共施設マネジメント白書」を作成しました。

【公共施設マネジメント計画策定（平成27年8月）】

白書から明らかとなった様々な課題解決に向け、公共施設を市の身の丈（人口や財政状況）にあった規模とし、市の将来を担う次の世代の過度な負担とならないよう取り組むための公共施設の有効活用と改善に向けた基本方針や改善の方策をまとめた「日光市公共施設マネジメント計画」を策定しました。

計画策定にあたっては、市民の皆さまと、市の抱える現状・課題についての情報・認識を共有しながら、市の取り組みにご理解を求めるとともに、公共施設の適正配置・有効活用等について、広くご意見を聴き場が必要と考え以下のような市民合意の形成に向けた様々な取り組みを行いました。

- ・無作為抽出市民アンケートの実施
- ・「日光市公共施設適正配置に係る市民検討委員会」設置
- ・用途別（学校、市営住宅、保育園）あり方検討会議設置
- ・シンポジウムの開催

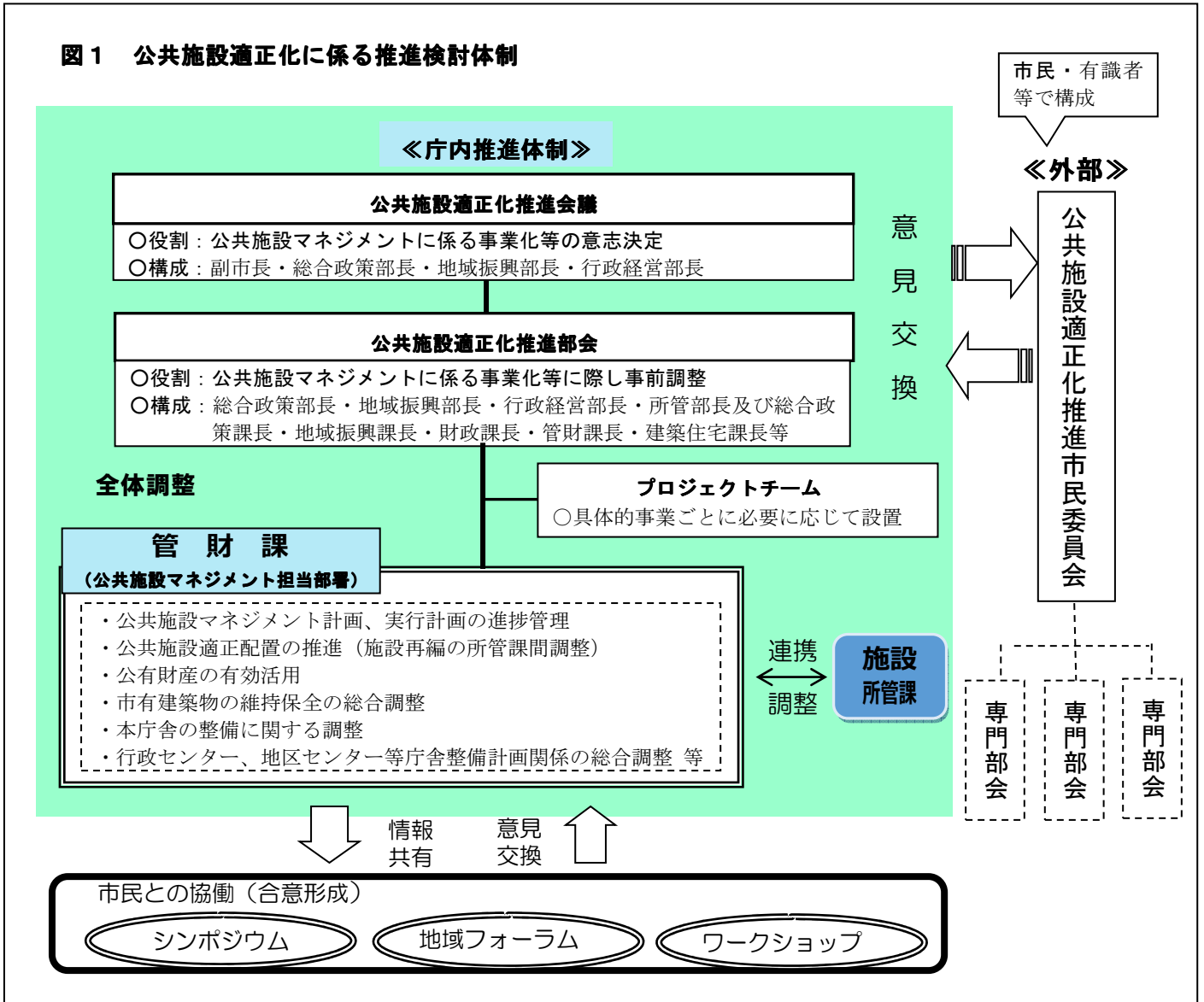
【公共施設マネジメント計画実行計画策定（平成28年7月）】

公共施設マネジメント計画の考え方にに基づき、個々の施設の具体的なマネジメントを推進するため、個別施設の具体的な行動内容、スケジュール等を示した実行計画を策定しました。

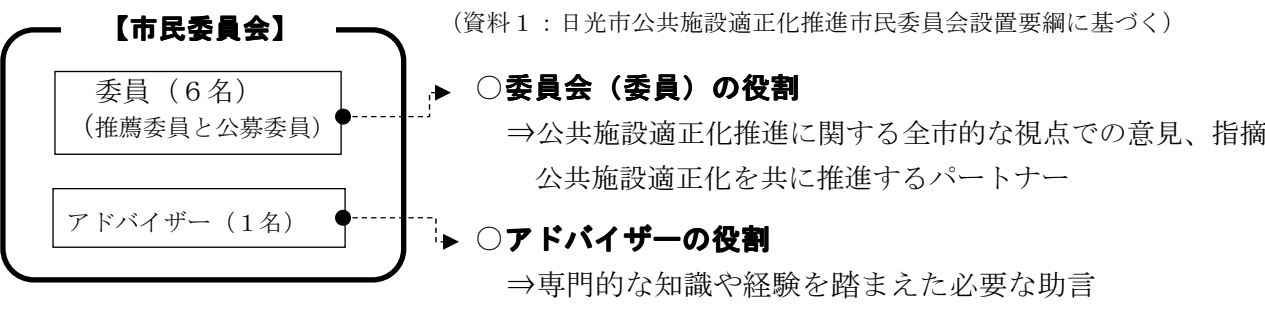
4. 計画策定から計画の実行、具現化へ

- 公共施設の適正化を進めるためには、計画を着実に実行し、具現化しなければ意味がありません。
- 実行計画の着実な実行推進に向けては、市民と行政が施設に関する情報、問題意識を共有しながら、具体的な事業の検討について調整を図っていくことが重要となります。
- このため、庁内体制はもとより、幅広い情報を市民と共有しながら合意形成を図りながら進捗を管理していけるよう、次ページ図1のような全市的な公共施設マネジメントの推進体制を構築し、公共施設適正化の着実な実行につなげます。

図1 公共施設適正化に係る推進検討体制



5. 日光市公共施設適正化推進市民委員会の構成及び役割



- 会議内容（主な議題）
- ✓ 公共施設マネジメント計画並びに公共施設マネジメント実行計画の進捗状況について
 - ✓ 公共施設適正化に係る個別施設の再編や保全に関する事業化について
 - ✓ 公共施設マネジメント計画実行計画見直し等について
- 会議予定・ 各年度2回程度の会議開催予定。
- 委員報酬・ 会議1回（2時間程度）につき日額 2,000円（税込み）